

気温上昇は大豆作での帰化アサガオ類による雑草害を拡大させる

(独)農研機構 中央農業総合研究センター



大豆畑で問題となっている「帰化アサガオ」類の防除のポイントは①大豆の本葉2葉期に最初の防除をする、②大豆の高さが条間と同じになるまで2週間毎に防除を続ける、です。気温上昇で帰化アサガオの成長が早くなり、防除できる期間が短くなるため、雑草害が拡大すると推定されます。さらに新しい防除法を開発中です。

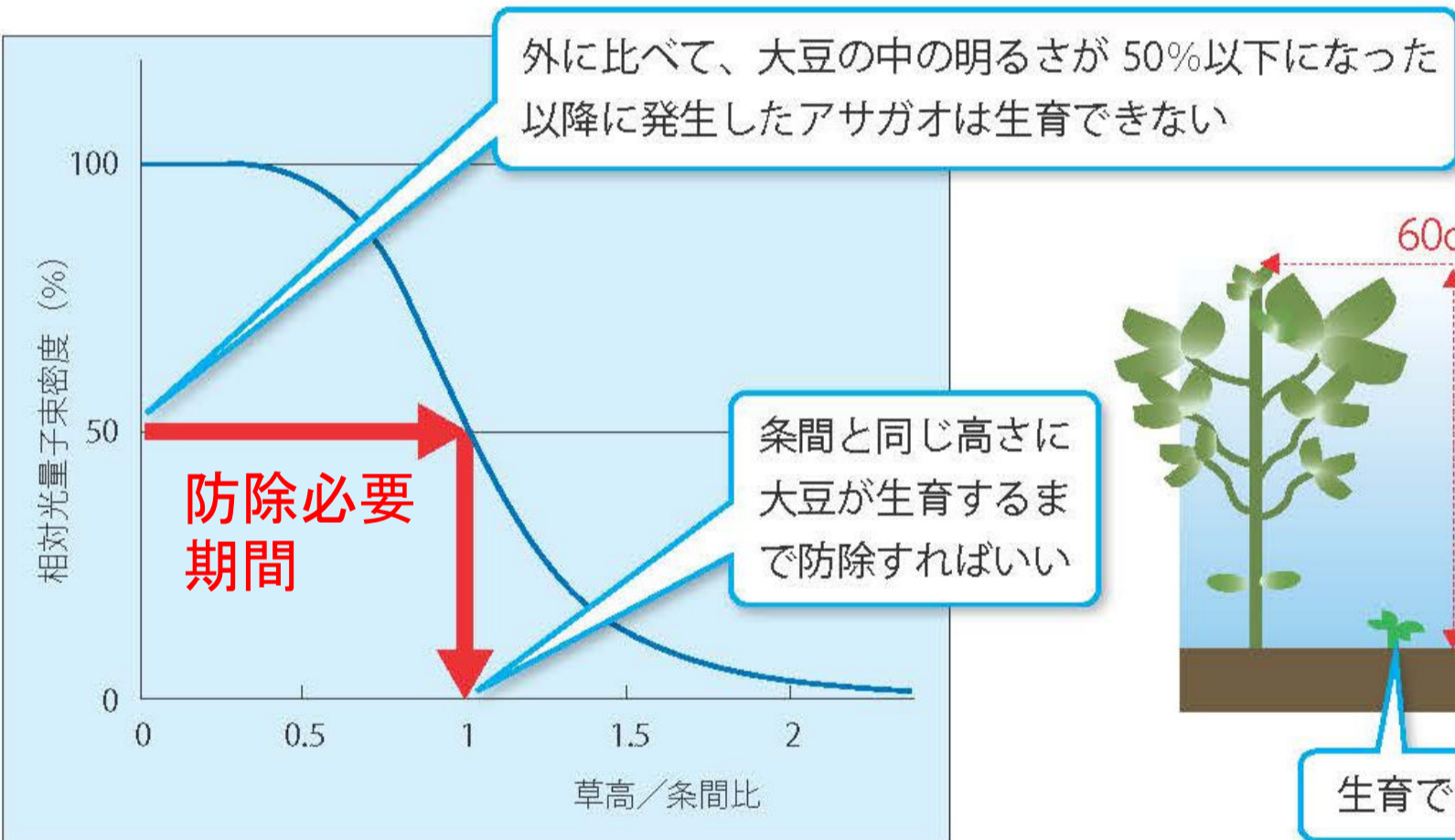
1 開発された帰化アサガオ防除技術のポイント

①最初の防除時期 **最初が肝心!**
(大豆本葉2葉期に除草剤散布)



2つの防除ポイントの実施

②防除が必要な期間 **2週間毎に!**



● 多発圃場でも大豆生産が可能になります。

● 詳細はマニュアルをご覧ください。

マニュアルは生態的雑草管理プロジェクトWebからダウンロードできます

<http://weedps.narc.affrc.go.jp/>

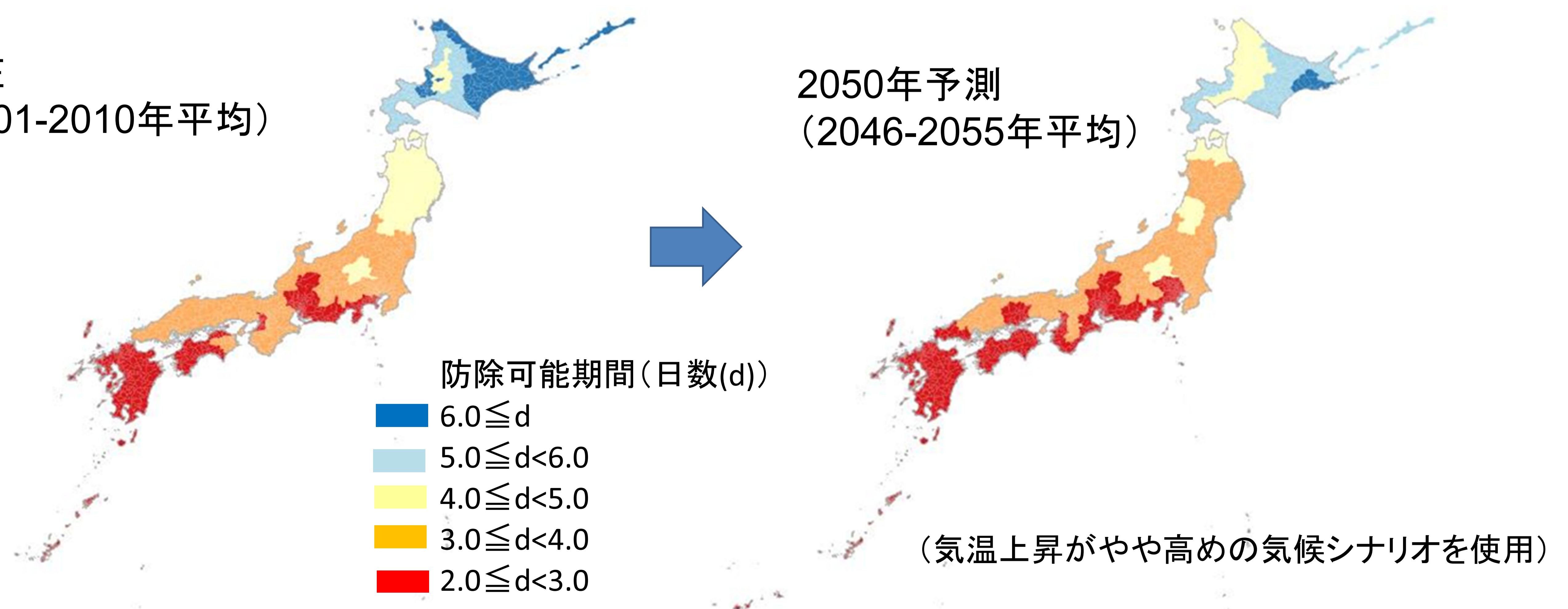


3

気温上昇によって大豆畑の帰化アサガオは防除しにくくなる

現在
(2001-2010年平均)

2050年予測
(2046-2055年平均)



● 現在の大豆栽培体系を想定し、帰化アサガオ(マルバルコウ)の最初の防除で使う除草剤の防除可能期間(大豆本葉2葉期になった日から効果がある散布日までの日数)について2050年の予測をしました。特に東北地域以北で期間が短縮し、防除が困難になると推定されました。